

地区の話し合い議事録

3 参加者

[illegible]

・本議事録の記載事項については実情に応じて適宜修正してください。

【 記 載 例 】

畑地化促進事業における仙北（申請地の集落や小字等）地区の話し合い議事録

- 1 日 時 令和6年1月15日（月） 9：00 ～ 9：30
- 2 場 所 仙北会館（〇〇自宅・土地改良区事務所・JA〇〇支店 等）
- 3 参加者 ① 仙北 太郎（申請者）
② 仙北 次郎（申請地の隣接耕作者）
③ 田沢湖 太郎（〇〇組織の代表・〇〇水利組合の代表）
④ 西木 花子（申請地の近隣耕作者）
⑤ 角館 一男（地域の農業委員・最適化推進委員）
⑥ 〇〇土地改良区事務局（土地改良区関係者）

4 概 要

発言者	発言内容
仙北 太郎	（図面を用いて説明）・私が大豆を作付している農地について、今後も大豆の作付を継続していく意向のため、水張りや水稲とのローテーションは行わず、畑地化しようと思う。畑地化後も畦畔や用排水路の点検・管理等は今までどおり行い、隣接地や集落と相互協力して進めていきたい。
仙北 次郎	・太郎さんの大豆は団地化されており、管理も適正である。隣接者として畑地化することに対して異議無し。
田沢湖 太郎	・仙北地域の多面的機能支払（旧農地・水）の対象となる水田、〇〇土地改良区の受益である水田を畑地化するということか。
仙北 太郎	・そのとおり。畑地化後も今までどおり多面的機能の対象農地としての要件を満たすように維持、管理する。また、土地改良区の組合員として継続して土地改良事業に参加していくつもりだ。
角館 一男	・申請予定地はおおむね団地化されており、将来的な農地集積・集約化に悪影響を及ぼすようなことは無いと思うが、畑地化後は水田活用の直接支払交付金の交付対象水田となるため、責任を持って取り組んでほしい。
仙北 太郎	・他にご意見が無ければ、当内容で畑地化申請を進めますが、よろしいか。
（ 一同 ）	・異議なし

以上の話し合いに基づき、別紙申請地

【作成にあたっての留意事項（作成時に本項）
・本概要の記載事項については実情に応じて

- 議事録は下記の事項に留意の上、作成すること
- ・「畑地化」に対しての合意が確認出来ること
- ・虫食い状の「畑地化」ではないこと。
- ・将来の農地集積や利水、治水に影響が生じないこと。
- ・話し合った出席者の氏名と役職が分かること（所有者、近隣耕作者、農業委員や土地改良区役員）